

市政を問う

6月定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



平間 智治

コロナ禍での新生活様式について

平間 公民館等での感染予防対策は。

答弁 利用者には、3つの密を避ける、手洗い、手や指の消毒、せきエチケット、マスクの着用などの注意喚起を行っています。

独自対策について

平間 コロナの影響で和牛の売上減少に伴う、畜産農家支援と観光バス事業経営の低迷で補正予算を。

答弁 農業関係の予算については、ある程度、余裕を持った予算計上ですが、不足した場合は、地方創生臨時交付金での対応を考えている。

また観光バス事業については、国のGOTOキャンペーンや新たな補正等で計画している観光業務等を活用し利用促進等に努めます。

平間 GIGAスクール構想におけるオンライン授業の活用方法は。

答弁 オンライン授業の環境を整え、学校が休校となっても学習を継続させることができ、直接人と対面しないので、例えば不登校傾向の児童生徒も授業に参加しやすくなります。GIGAスクール構想での1人1台端末では、オンライン授業の他にも、AIDドリルや調べ学習のツールとしても利用でき、個々の興味、関心や能力に応じた学習が可能です。



牛島 和廣

コロナ禍での現状

牛島 マイナンバーカードの普及と利用の推進また高齢者への配慮はどうか。

答弁 国では、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるように準備を進めています。今年9月から期間限定ですが、消費の活性化とマイナンバーカードの普及の加速化、キャッシュレス決済基盤の構築を目的としてマイナポイント事業が取り組まれます。

カードの交付推進では来庁者向けに支援ブースを設け、その中でも特に高齢者の皆様へは、マイナンバーカードの内容、必要性や申請手続などについて親切丁寧な対応で推進を行います。また、動画やホームページ、行政放送などを通じて、あるいはは出前講座等を行うなど考えています。



荒廃農地施設の管理状況

牛島 荒廃した農地の対策は。

答弁 就農者へのサポートとして、新規就農者への相談窓口を市農林課内に設置し、県、佐賀県農業協同組合、金融機関などの関係機関とワンストップで相談できる体制を取っており、この相談の中で農業技術、農地の確保、資金面の調達方法など、まずは農業経営ができる体制について相談を受けています。



鷲崎 義彦

防災避難所について

鷲崎 新型コロナウイルス感染症の対応を取り入れた避難所の検討、準備は。また、避難所等での設営訓練は。さらに、避難情報の理解促進、持つていくもの、避難所での新しい取り組み等の市民の方々への周知はどう行っているのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとしては、体調不良の方、あるいは妊産婦の方などは専用の避難所を設け、3密を避けて感染リスクを減らして対応していきたいと考えています。

さらに、専用避難所では、間仕切りと簡易ベッドを、全避難所には感染予防のためのマスクと消毒液、非接触型の体温計などを配置することとしています。

また、感染予防意識を高めていただくため、感染予防チラシ、健康チェック表を配布するとともに、正しい手の洗い方のポスターを掲示し

洗い、消毒の徹底を呼びかけます。設営訓練の実施については、専用避難所において導入予定の間仕切りが納入され次第実施する予定です。新しい取り組みや避難所を持つていくもの等の周知については、市報やホームページ等で市民の方にお知らせします。



間仕切り設営訓練